

各学校に3部配布しています。

学校用（校長先生・教頭先生）1部、PTA役員用2部



# 市P連ニュース



平成30年度 No.3(12/12発行)  
千葉市PTA連絡協議会

去る10月30日（火）に市民会館にて第32回千葉市PTA連絡協議会研究大会を開催しました。当日は約640名もの皆様にご出席いただきましたこと、御礼申し上げます。

全体会では、千葉市長 熊谷様、市議会議長 小松崎様、教育長 磯野様に祝辞を頂戴し、「育もう 子どもの心に夢と希望と優しさを」をスローガンに掲げた大会宣言が採択されました。

続いての記念講演では、講師にお迎えした 的場 亮 様 から、「一瞬の感動を人生のきっかけに」というテーマでお話いただきました。関西在住の的場様は、全国各地の研修会で「人生のレシピ」を題材に講演して回られています。ご自身が中学校・高校時代にどんな生徒であったか、大学を中退した頃の夢も希望ももてなかったというお話から、今のように変わったきっかけは何だったかなど、ご自身の体験に基づくお話と、その間に挟まれた動画によって、ご参加の皆さんが涙をぬぐう姿も見られました。1時間半があつという間で、最後は会場全体が感動に包まれました。

ご講演についてのアンケートを回収して皆さんの感想を読ませていただき、それぞれ受け手が心にヒットする箇所が違って、皆が自分を振り返り、もっとよく生きていこうという気持ちにさせていただいたことが伝わってきました。どんな環境にあってもそれをとらえる心の持ち方、声のかけ方で全然違う生き方につながるということを考える機会となったことと思います。

市P連では、全体会や記念講演の内容についてテープ起こしを行い、研究大会報告書として各学校に1部ずつお届けする準備を進めております。単Pでは予算の関係でなかなかお呼びできない講師の方でも、毎年研究大会の講師として千葉市にお迎えしておりますので、役員の皆様はもちろんですが、一般会員の方々にもお声かけいただき、次年度以降も是非足をお運びくださるようお願いいたします。



研究大会 会場の様子

## 第 3 回理事会議事録

平成 30 年 10 月 24 日(水)

13:00 ~ 15:00

千葉中央 C.C 5F 講習室 1

### ◆ 会長あいさつ (大塚会長)

### ◆ 報 告

◇市 P 連 会務報告 ※市 P 連役員(会長・副会長等)が参加した会議一覧

- 10/16 千葉市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 (角間)
- 10/17 千葉市教育委員会教育委員との意見交換会 (会長・一条・星島・上妻・矢島  
江波戸・前田・神尾・福永)
- 10/19 稲毛区弥生小 P T A 役員会訪問 (会長・一条・星島・神尾)
- 10/25 稲毛区轟町中 P T A 訪問 (三橋・一条・星島・神尾)

### ◇各区 P 連報告

《中央区》《稲毛区》《美浜区》《緑区》《若葉区》《花見川区》より役員会・理事会の実施報告。

各区の区民祭り、フェスタ等に参加し地域との連携を図った旨の報告あり。

《中央区》は単 P 会長意識調査を実施。9/15 に区研修会を開催し、《美浜区》からも 3 名が参加。

とても有意義な研修大会であり、次年度へ繋げていきたいとのこと。

《若葉区》は 12/11 に研修会(LGBT について)を開催予定。

### ◇市 P 連からの報告

#### (1) 各委員会報告

- ① 総務委員会(小西委員長)
- ② 広報委員会(前田委員長)
- ③ 事業委員会(福島委員長) ※バレーボール大会結果  
優勝:松ヶ丘中 準優勝:新宿小 三位:轟町小 敢闘賞:花見川中



#### (2) 関東ブロック千葉市大会実行委員会報告

9/26(水)に本部会を開催、10/2(火)に実行委員会を開催した。各部会から進捗状況の報告や共通理解が必要な事項の協議を行った。

その結果、大会の運営スタッフの募集の仕方、その募集時期をどのようにするかについて、実行委員会後に総務部・全体会運営部・分科会運営部・企画統括部(事務局)各部長で話し合い、以下のように決定。

- ② 1日目の分科会と2日目の全体会の運営にあたり、実行委員とは別に各区に依頼する予定の運営委員、運営スタッフ(当日のみ)の人数概算を提示した。詳細は次回2/6(水)の市 P 連理事会でお知らせする。
- ③ 分科会・全体会の市内の参加人数の見込みは、1日目、2日目各 700 人程度。本年度の研究大会参加者は 640 人。来年度もほぼ本年度と同数の予定。運営委員・スタッフとして手伝ってくださる方もそのまま単 P の参加人数にカウント可。

#### (3) 指定都市情報交換会北九州大会報告 9/13.14 (市 P 連ニュース参照)

#### (4) 教育委員との意見交換会 10/17 報告(市 P 連ホームページに掲載)



◆ 議 事

- (1) 第32回研究大会の概要
- (2) 新年情報交換会について

①概要について

日時 : 平成31年1月26日(土) 午後4時開会  
 場所 : 東京ベイ幕張ホール 会費 : 6,300円の予定  
 内容 : 第1部 情報交換 第2部 懇親会  
 テーマ「「PTA活動の充実のために ~今の課題と自校の取組~」

②申込み方法の注意事項 申込み締切12月14日(金)

③各区P連の紹介(出し物・PR)についてのお願い

※各区PRの時間は5分以内。 区Pの発表順番の決定(くじ引き)

1.緑区	2.花見川区	3.若葉区	4.美浜区	5.中央区	6.稲毛区
------	--------	-------	-------	-------	-------

- (3) 次年度年間行事予定について 別紙参照 事務局

来年10月12日、13日に市P連研究大会と関東ブロック研究大会を兼ねて開催するため、市P連バレーボール大会を例年より早く9月下旬に実施する予定。各区のバレーボール大会の日程調整が必要。

- (4) 役員選考委員会について

第1回会議は2月6日(水) 午後1時~ 市P連役員の委員: 上妻副会長  
 各区の選考委員の決定

花見川区: 岡田会長	中央区: 山崎会長	稲毛区: 河原会長
緑区: 高嶋理事	美浜区: 篠塚会長	若葉区: 伊藤会長

◆ 情報交換

各区からの情報提供や質問によって自由に意見交換をしています。今回の内容は以下の2つでした。

① 災害備蓄の現状について(一部要約)

- ・学校に備蓄倉庫あり。各家庭でも3日から5日分の備蓄をするように呼び掛け(緑区)
- ・児童分の水(キャップ部分に氷砂糖が入っている)、アルミブランケットを備蓄(弥生小)
- ・入学時に6~7年保つ水をPTAからお祝いとして配付し教室等に備蓄。卒業時に児童に返却(真砂西小)
- ・入学時に500円程度の備蓄品(水・ビスコ缶)を預かり、3年生修了時に本人に返却。4年生で新たに購入し、卒業時に本人に返却する(大宮小)
- ・学校にいる際に被災した場合に備え、水2本とアルファ米を備蓄。バザーの利益から購入(若松中)
- ・アレルゲンフリーのレトルトカレーを備蓄(若松小)
- ・3/11の教訓で液状化に備え、校舎の3Fに水、アルミブランケットを備蓄(新宿小)

→ 各区、各単Pの想定される状況(液状化、津波のおそれ、交通が遮断される等)は様々。

備蓄の内容や方法もそれぞれなので、ガイドラインがあればいいとの意見が出されました。

② 稲毛区Pの現状について

区P役員の選出、幹事校の輪番制についての情報交換。各区が行っているブロック編成について、またはどのように見直しを進めているかを提示情報交換しました。

\*\*\*\*\*

【出席者】大塚会長、上妻副会長、星島副会長、一条副会長、佐々木副会長、岡本副会長、矢嶋会計、江波戸書記、加賀見書記、長澤監事、小西総務委員長、福島事業委員長、前田広報委員長、花見川区:岡田会長、佐藤理事 稲毛区:河原会長、本吉理事 中央区:山崎会長、神原理事 若葉区:伊藤会長、矢澤理事 緑区:高嶋理事 美浜区:篠塚会長、寺沢理事、神尾事務局長、福永事務局長

# 日本PTA70周年記念 表彰おめでとうございます

(敬称を略させていただきます)

## ◆ P T A 活動振興功労者 表彰〔文部科学省大臣賞〕

〈 個人 〉 星野 正昭 元千葉県PTA連絡協議会会長・千葉県大会実行委員長  
(誉田小・誉田中)

## ◆ (公社) 日本PTA全国協議会会長賞 表彰 (順不同)

〈 団体 〉 千葉県立緑が丘中学校PTA [会長：石神 健]  
〈 個人 〉 鈴木康弘 (前 市P連副会長：朝日ヶ丘中)  
土屋和紀 (前 市P連副会長：都賀小)  
上妻陽子 (前・現市P連副会長：真砂中)  
大山尋美 (元 市P連事務局長)

## ◆ (公社) 日本PTA全国協議会 70周年特別表彰 (順不同)

単P会長、副会長を長年務められ、区P・市P等の役員や実行委員としてPTA活動推進に尽力されている9名の方が千葉県から推薦され70周年特別表彰となりました。

今野 義宏	柏井小・花見川中
大橋 正規	松ヶ丘小
伊藤 紀行	大宮中、大宮小
植村 真	宮崎小、蘇我中
近藤 一寛	都小・加曽利中
小林 正継	土気小・土気中
水野 早苗	仁戸名小・松ヶ丘中
尾形 淳	横戸小
橋本 浩一	蘇我小・蘇我中



## ◆ 日P70周年記念式典・表彰式について

日時：平成30年11月21日(水) 13:30～

場所：東京赤坂 ホテル ニューオータニ 鶴の間

全国から千名以上の参加者が集まった中で盛大に式典が開催されました。

皇太子殿下・雅子妃殿下ご臨席のもと、終始厳重な警備態勢が敷かれましたが、



皇太子殿下をはじめ、ご来賓の祝辞の中で、表彰者に対し、永年の功労についてのご慰労と感謝の言葉をいただきました。

